

中学生のみなさんへ

2020.夏 鎌倉市図書館Presents!

夏休みにおすすめの本

4月1日から、開館時間、休館日が変わりました。

【休館日】 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

【開館時間】

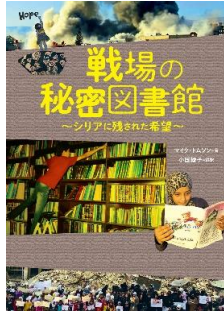
中央図書館 火・水・土・日・祝 9:30~18:00
平日の木・金 9:30~19:00

腰越・深沢・大船・玉縄図書館

火・水・土・日・祝 8:45~17:15
平日の木・金 8:45~19:00

Y016

戦場の秘密図書館



シリアのダラヤは2012年に政府軍により完全に包囲され、補給路がたたれました。食料も薬も足りない極限下で、検閲のない図書館をひらき、守り抜いた若者たちがいました。2016年に全員が退去し、今は町のぬけがらだけが残っているダラヤ。そこにあった秘密図書館が守ったものは何だったのでしょうか。

マイク・トムソン／著
小国綾子／編訳
2019 文溪堂



Y159.5

どうしたらいいかわからない君のための 人生の歩きかた図鑑



10代の人たちの多くが悩んでいる、学校や家庭、体、お金のことをどうやって解決するか、一緒に考える本。大人も若いころは大いに悩んだ経験がある。この本に登場する相談員もまた同じ。大いに悩んで、自分で道を決めて、大人になるための本。大人になったときに、若い世代に悩むことの大切さを教えられることができるようになる。

石井光太／著
2019 日本実業出版社



Y210

信長もビックリ!? 科学でツッコむ日本の歴史 だから教科書にのらなかった



歴史に興味がある人もそうでない人も、このタイトルに、興味津々!!
今まで学校で習った歴史に、科学的スパイスをちょっと加えたことで、その事件の背景や人間関係が今まで以上に見えてくるかもしれません。
ちょっと頭が疲れた時の骨休めに一冊いかがですか？

平林純／著
2018 集英社



Y329.9

国籍の？がわかる本 日本人ってだれのこと？外国人ってだれのこと？



日本人が日本で暮らしていると、あまり意識しない国籍や国境のこと。何となく知っていそうで知らない国籍のこと。外国人から見た日本のこと。日本で暮らす外国人が日本の社会の中でできること、できないこと。一つ一つが易しい言葉で、詳しく書いてあり、国籍のことがよくわかるようになる1冊。



木下理仁／著
山中正大／イラスト
2019
太郎次郎社エディタス

Y457

恐竜の魅せ方 展示の舞台裏を知ればもっと楽しい



博物館などで展示されている恐竜。ただ展示しているのではなく、より魅力的に感じてもらうための努力や工夫を紹介。また恐竜を展示することに関係している様々な職業の人たちも紹介。恐竜を魅力的に見せることを読者に知ってもらい、さらに恐竜のことを深く知ってもらいたい気持ちがかもっている。

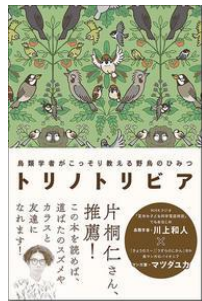


真鍋真／著
2019
CCCメディアハウス

488

トリノトリビア

鳥類学者がこっそり教える野鳥の秘密



川上和人／監修 他
2018 西東社

歩いているとき、なにげなく空を見上げることはありますか？

「鳥は空を飛んでいるなあ」と思ったりすることはありますか。

そんなあなたは、(野)鳥好き！

鳥類学者が(野)鳥の生態についてわかりやすく解説してくれています。この本を読んだ後、空を眺めるとそれまでとは違った思いに・・・



Y491.3

想定外の人体解剖学



坂井建雄／著 2018
榎出版社

「人体は小宇宙」と言われるほど神秘的なもの。これだけ様々な技術が発展した現代でも、まだ解明されていないことがたくさんあります。そんな人体の想定外の謎のシステム、想定外のムダシステム、想定内のすごいシステム…気になりませんか？さあ、神秘的の扉を開いてみましょう!!



Y664.6

回転寿司になれる魚図鑑
お寿司屋さんでイバれる！

松浦啓一／監修
水野ぶりん／画
主婦の友社／編
2018 主婦の友社

マグロ、イカ、アジなど定番の魚に加え、カニやヒラメなど回転寿司で出える魚のプロフィールが紹介されています。回転寿司になれない魚のページが面白いけれど、なぜ回転寿司になれないのかを書いてあるのもっと興味深かったかも。回転寿司に行くときにちょっと物知りになれる本。



Y816

放課後の文章教室



小手鞠るい／著
2019 偕成社

Twitter、Facebook、ブログに、学校の課題、何かを言葉にするとき、たちどまってしまいませんか？上手に書きたい、たくさんの人に読んでほしい、そんなみんなの声に答えているのは作家の小手鞠るい氏。文章の書き方の道筋や、考え方も書いてありますが、作家自身も悩んで、悩んで悩みぬいていることがよくわかります。

Y914.6
才

「国語」から旅立って



温又柔／著
2019 新曜社

「わたし」は3歳から日本で育った台湾人。中国語と、台湾語と、日本語が飛びかう中で育った。台湾人だけど、一番得意なのは日本語、苦手なのは中国語。私の「国語＝母国の言葉」はいつたいどれなんだろう。わたしは、わたし。でも、わたしはどこのだれ？言葉と自分を探す物語。

Y913.6
カ

星くずクライミング



榎崎茜／作
杉山巧／画
2019 くもん出版

「今から昴が登るのは、うみへび座。三月から四月にかけて南の空に昇る、宇宙で一番大きな星座」。目の見えない昴がクライミングウォールに登るには、ガイドが必要。あかりは、クライミングウォールに散らばるホールドに、星座を見る。あかりのガイドで昴は壁を登る。パラクライミングって、こんなに面白いんです！

J933
ハ

ジュリアが糸をつむいだ日



リンダ・スー・パーク／作
ないとうふみこ／訳
いちかわなつこ／絵
2018 徳間書店

ジュリアはアメリカ系の韓国人。クラブの自由研究で、カイコを育てて糸を紡ぐことになった。ジュリアはもっとアメリカっぽい自由研究がしたかったけど、親友のパトリックはノリノリだし、カイコもだんだんかわいくなってきて…でもある日、彼女は自分がとても大事なことを知らなかったことに気がついた！

Y973
ハ

桜の木の見える場所



パオラ・ペレッティ／作
関口英子／訳
2019 小学館

マファルダは「スターガルト」という徐々に視力が失われていく難病を抱えた少女。自分には段々とできなくなることが増えていくと思っていたときに「大切なことリスト」を作るアドバイスを受けます。不安や恐怖を抱えながらも、マファルダは「リスト」を作っていきます。そこには何が書かれているのでしょうか…。

